

# PYP 言語方針

## Karugamo English School Mission Statement

### **Mission 1**

様々な人々、考え、文化に触れ、人それぞれの違いを理解し、自分を肯定し、他者への思いやりを持てる真の国際人を育成します。

We are committed to helping our students to have contact with different people, ways of thinking, and cultures; affirm their unique identities, celebrate differences, and become true international citizens.

### **Mission 2**

四季を通した様々な行事や体験をして、探求心を持ち、自ら考え行動し、生涯にわたり学び続ける子供の育成をします。

By incorporating various events and experiences related to the four seasons, we are dedicated to helping children to develop a strong spirit of inquiry, think and act independently, and become life-long learners.

### **Mission 3**

早期英語教育で日々の生活を丁寧に積み重ね、地球環境など幅広い視野を持つ子供の育成をします。

Through early childhood English education, we build little by little on children's daily lives and experiences and help them grow into children who are aware of the global environment and have a broad perspective.

## 1. 言語についての方針

子どもたちは言葉を使って自分の周りの世界を理解します。言語学習は、他のすべての学習、成長、発展をサポートします。言語は意味のある文脈で学ぶのが一番です。当スクールの目標は、言語が豊富な環境を作ることです。すべての講師は言語の講師です。私たちは、生徒がさまざまな経験を通じて言語を学ぶために協力しています。

私たちの目標は、真の国際人を育成することです。英語能力は、グローバルコミュニティに参加するのに役立ちます。当スクールでは、生徒は英語を使用して、さまざまな文化の講師と交流することができます。生徒は英語のスキルを使って世界中の人々とコミュニケーションをとることができます。

言語とリテラシーは私たちの生活を豊かにします。私たちは英語学習とリテラシーに重視しています。また、多言語主義と母国語の発達を大切に、奨励します。

## 2. 言語学習ポリシー

### 2.1 英語イマージョン

幼い頃の子供たちは、言語を学ぶ独特の能力を持っています。彼らは遊びと探検を通して学ぶことができます。私たちの最も重要な目標は、興味深く、言語が豊富な、イマージョン環境を作ることです。

当スクールの指導言語は英語です。英語は世界中で使用されている強力なコミュニケーションツールです。英語を学ぶことは、国際的な視野とグローバルコミュニティへの参加を育むのに役立ちます。

当スクールの生徒は、完全なイマージョン環境を通して英語を最もよく学びます。私たちは、生徒一人一人がカリキュラムに接続できるようにサポートを提供します。彼らは第二言語であっても、英語で有意義な経験をすることができます。

私たちは、可能な限り自然で経験に基づいた英語学習を重視しています。また、明示的な指示の役割も認めます。私たちは基本的な英語の語彙、一般的な表現、そしてリテラシースキルを教えます。

すべての講師は生徒との交流に英語を使用しています。私たちは英語のみを使用して生徒と信頼関係を築きます。

### 2.2 母国語のサポートと多言語主義

当スクールでは、ほとんどの生徒の母国語は日本語です。自宅で韓国語、中国語、英語、スペイン語を使う生徒もいます。私たちは、母国語の重要性を認識しています。生徒の母国語をサポートします。また、完全な英語イマージョン環境への取り組みも維持しています。

バイリンガリズムとマルチリンガリズムをサポートします。ある言語で言語能力を伸ばすと、他の言語に移行します。

英語を通して、コミュニケーションができる人を育成します。生徒は自分の感情、考え、意見を表現します。言語を使って身近な世界を探索します。言語を通して精神的プロセスを調整します。

また、読書が好きになることや、文字への興味を育むことも目指しています。

英語力を母国語に移すことをお勧めします。

また、可能な限り母国語を直接サポートします。個人面談や保護者会では、家庭でできる母国語サポートについて話します。当スクールでは、新入生ができるあらゆる言語、または非言語的な方法で表現することをお勧めします。これらのコミュニケーションの試みは、彼らの英語力の発達の基礎になります。

講師は、困窮時、混乱時、緊急時に日本語を話します。生徒が質問をし、英語で語彙を増やすことをお勧めします。母国語で知っている単語や持っている概念と英語の表現に意味のあるつながりを結びつけます。

### 3. 言語学習の目標

#### 3.1 基本契約

当スクールでは、生徒がさまざまな方法で言語を使うスキルを身に付けることを目指しています。

当スクールのすべての生徒は、以下のことを学びます。

- 言語を使用して、やりたいことや必要な物事を伝える
- 友達と仲良くし、言葉を使って他の人に要求を伝えて、対立を解決する
- 基本的な挨拶をして、友達や講師との会話を楽しむ
- 言葉と非言語的な表現の両方を使用し、考えや感情を表現する
- 周りの世界についてもっと学ぶために質問をする
- 英語の音や新しい単語を遊びながら試す
- ロールプレイ、物語、自由遊びを通じて、創造的な方法で言葉を楽しむ
- 物語を楽しむことによって、文字への興味を持つ
- 話や発表をするにことよって、自分の経験を共有する
- 卒業後でも英語を学び続けたい人になる

### 3.2 PYP言語ストランド

PYPは、言語学習のために以下の3つの要素(ストランド)を識別します。

- Oral Language - 聞く・話す
- Visual Language - 情報を見る・プレゼンテーションをする
- Written Language - 読む・書く

3つの言語ストランドは、受容的側面と表現的側面の両方で構成されています。当スクールでは、それぞれの言語ストランドで成長を促進することを目指しています。英語で意味のあるインプット、アウトプット、そして対話をする機会を提供します。

以下は、当スクールで学年ごとに目指している学習成果のいくつかの例です。各セクションから1つの結果を選択して、UOIで焦点を当てます。発達には個人差があることも認識しています。生徒一人一人のニーズに合わせて言語学習体験を調整します。

## Oral Language

<b>Year 1 (Ages 3-4)</b>	<b>Year 2 (Ages 4-5)</b>	<b>Year 3 (Ages 5-6)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジェスチャー、行動、ボディランゲージ、言葉を使ってニーズを伝え、考えを表現する</li> <li>● 文脈の中で単一の単語と2つの単語のフレーズを使用する</li> <li>● 簡単な質問を理解し、行動や言葉で答える</li> <li>● 言葉、ジェスチャー、物を使用して自分のストーリーを伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文脈や環境を使用して、一日の流れを理解し、講師の指導とに従う</li> <li>● 個人的な経験を説明する</li> <li>● 単語の始まり、中間、終わりの音をより正確に区別する</li> <li>● 分かりやすい聞く文章から簡単な情報を取得する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 質問をして情報を入手し、自分自身またはクラスに向けられた質問に答える</li> <li>● 読み上げられたテキストを聞いたときに、次に起こることを予測する</li> <li>● 自分で作った物語、文章、絵、モデルについて話す</li> <li>● 言葉を使って、クラスでの活動、会話、想像力豊かな遊びの中でコミュニケーションを取る</li> </ul>

## Visual Language

Year 1 (Ages 3-4)	Year 2 (Ages 4-5)	Year 3 (Ages 5-6)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● プレゼンテーションを見て、自分の気持ちを伝える(興味や驚きなど)</li> <li>● 身近な標識、ラベル、ロゴを認識する(止まれ、非常出口など) 類似点と相違点を特定する</li> <li>● お気に入りのページを中心に、本を選んで読み返すことで、絵本のイラストに関心を持つ</li> <li>● 視覚的なテキストに関連する用語を聞き、理解する(色、形、サイズなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 色、形、記号、画像を選択して、プレゼンテーションで使う</li> <li>● ジェスチャーとロールプレイでボディランゲージを使用して、考えや感情を視覚的に伝える</li> <li>● 特定のインパクトを生み出すための視覚効果の使用と構成に気付くようになる(よく使う画像はストーリーで重要なことを示すなど)</li> <li>● 視覚的なテキストに個人的なつながりを作る(新しい学校で友達を作る子供たちについての絵本など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスカッション、ロールプレイ、イラストを通して視覚情報の理解を示す</li> <li>● 視覚的なメッセージに応じて自分の気持ちについて話す。友達の気持ちを理解する</li> <li>● 形、記号、色には意味があることを認識し、プレゼンテーションで使う</li> <li>● 自身の経験に応じて視覚的なテキストに関連する(「それは私の叔父の農場みたい!」など)</li> </ul>

## Reading

Year 1 (Ages 3-4)	Year 2 (Ages 4-5)	Year 3 (Ages 5-6)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話を聞いて楽しむ</li> <li>● 本を扱い、本の使い方を理解する(表紙、始まり、右から左へ読む、終わりなど)</li> <li>● 皆で本を読み、繰り返す言葉などを言い出す</li> <li>● テキストを聞いたり「読んだり」するときに、自分の経験につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人的な経験と絵本のキャラクターを結びつける</li> <li>● ストーリーの登場人物に共感を示す</li> <li>● 楽しむためにお気に入りのテキストを選択して読み返す</li> <li>● 好奇心を示し、絵やテキストについて質問する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読み聞かせなどをよく聞き、意見を発言する。ストーリーに次起こることを予測する</li> <li>● 身近な環境から文字や標識を読んで理解する(標識、広告、ロゴ、技術画像など)</li> <li>● 適切なレベルで自己選択および講師選択のテキストを読み、理解する</li> <li>● 高頻度で関心の高い単語を認識し、即座に読めるようになる</li> </ul>

## Writing

Year 1 (Ages 3-4)	Year 2 (Ages 4-5)	Year 3 (Ages 5-6)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ささまざまな筆記用具とメディアを使ってみる</li> <li>● 遊びの中で自分で書こうとする(郵便局ごっこでフォームに記入したり、パーティーのメニューや欲しい物リストを書いたりするなど)</li> <li>● 自分で自分の名前を書く</li> <li>● 音と文字の関係についての認識を示し、いくつかの馴染みのある音を記す方法を認識し始める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の経験を絵や「文字」で表現する</li> <li>● 好奇心を示し、書き言葉について質問する</li> <li>● 書くことを楽しみ、自分の努力を大切にする</li> <li>● 共有ライティングに参加し、講師のライティングを観察し、書きたいことを発言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言語コミュニティ内でこれが重要である理由を理解した上で、文字を正しく、丁寧に書く</li> <li>● 特定の視聴者へメッセージを伝えるために書く(ニュース記事、指示、ファンタジー記事など)</li> <li>● 自分の文章を講師やクラスメートに読んで、伝えたいことを文章にするとずっと変わらず、形に残るということを気づく</li> <li>● 頻繁に使用する単語やアイデアを自分で書く</li> </ul>



#### 方針見直し

- 言語方針は2020年10月12日にジョーダン・ロングが作成したものです。
- 2021年4月に日本語に訳し、方針見直しを行いました。
- 2021年12月に修正をしました。
- 方針見直しは毎年4月上旬に行います。

#### 参考書目

以下の学校の方針が参考になりました：

- Kid's Tairiku Yokohama
- Sunnyside International School

以下の書類が参考になりました：

- PYP: From principles to practice
- Primary Years Program Language Scope and Sequence